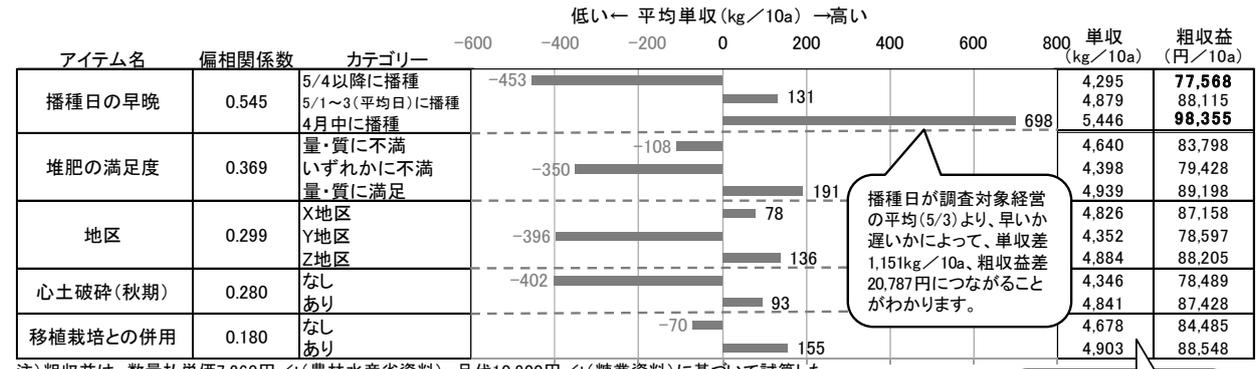


表1 単収水準別に見た圃場管理作業の特徴（十勝A町）

単収水準 (t/10a)	戸数 (戸)	播種日 (平成22 ~24年 中央値)	心土 破碎 あり	耕起			融雪剤 散布 あり	堆肥 散布 あり	堆肥の 投入量 (t/10a)	堆肥について		高位安定経営と低位不安定経営の特徴 (現地試験結果)				
				秋期	春期	簡易耕 ^{注2)}				十分に 確保 (%)	品質に 満足(問 題なし) (%)	心土破碎 の 実施時期	土壌硬度が 1.5MPa ^{注3)} を超える深 さ	含水比 (深さ5 ~15cm)	出芽率	
全平均	4.7	24	5/3	79	79	8	13	38	100	4.0	83	58	・高位：播種前年 に実施	・高位： 47.7cm	・高位： 54.0%	・高位： 安定的
低位	3.9	9	5/4	67	100	0	0	11	100	3.7	67	33	・低位：播種当年 の春期に実施す る場合あり	・低位： 30.0cm	・低位： 57.7%	・低位： 以上を 確保
中位	4.7	5	5/4	80	60	20	20	40	100	4.0	80	60				
高位	5.5	10	4/30	100	70	10	20	60	100	4.3	100	80				

注1) 表記した割合(%)値は、各単収水準における集計戸数に占める回答割合を示す。
注2) プラウを用いた反転耕を実施していない。
注3) 1.5MPa：貫入式土壌硬度計による耕盤層の判定基準



注) 粗収益は、数量払単価7,260円/t(農林水産省資料)、品代10,800円/t(糖業資料)に基づいて試算した。

チェックリストに表示

図1 数量化I類によるてんさい単収の規定要因（十勝A町、決定係数：0.590）

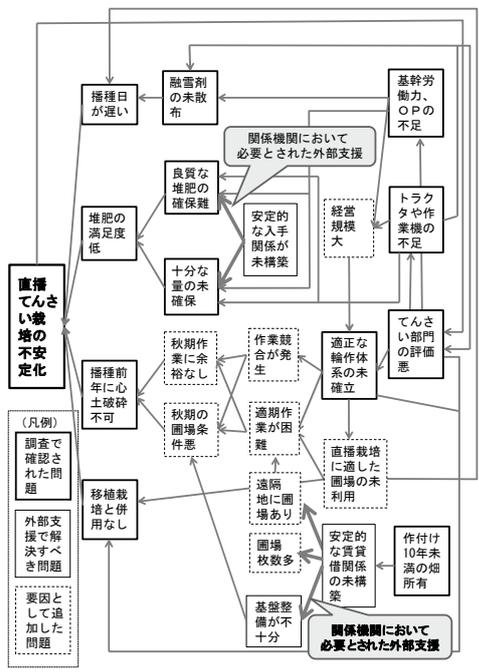


図2 直播てんさいの生産性格差の問題を整理した関連図（十勝A町の例）

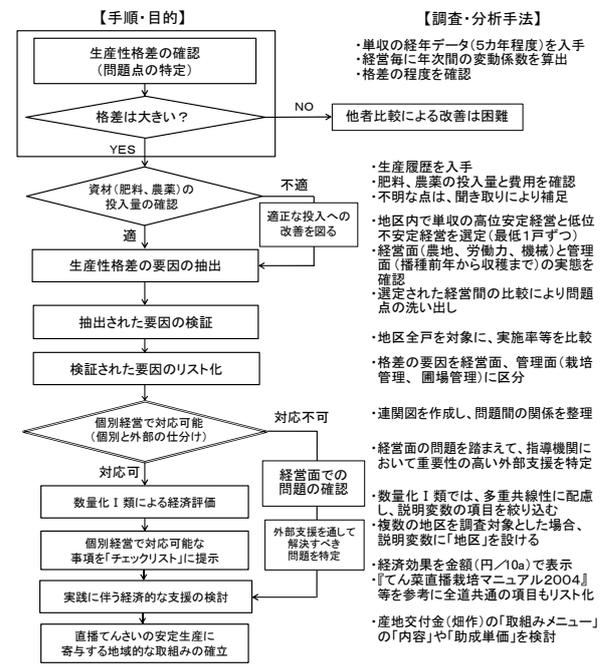


図3 直播てんさいの安定生産に向けた指導法

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。
道総研十勝農業試験場 生産システムグループ
電話 (0155) 62-2431 E-mail: tokachi-agri@hro.or.jp